

バドミントン ルールブック

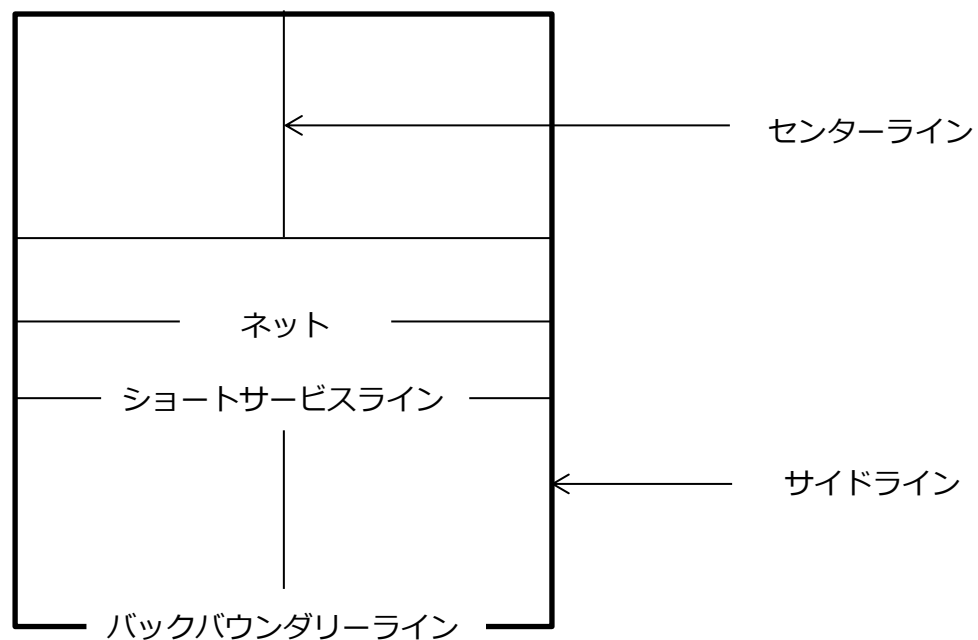
2019 年 4 月 5 日

文責：SEBONE

※自分たちの試合が行われる 1 試合前に審判をするので、1 試合前の開始 10 分前に必ず受付にいますようにしてください。審判をするのを忘れた場合 1 回目は注意、2 回目は失格となりますので注意してください。

また、審判はこのルールブックをもとにして試合を進行してください。

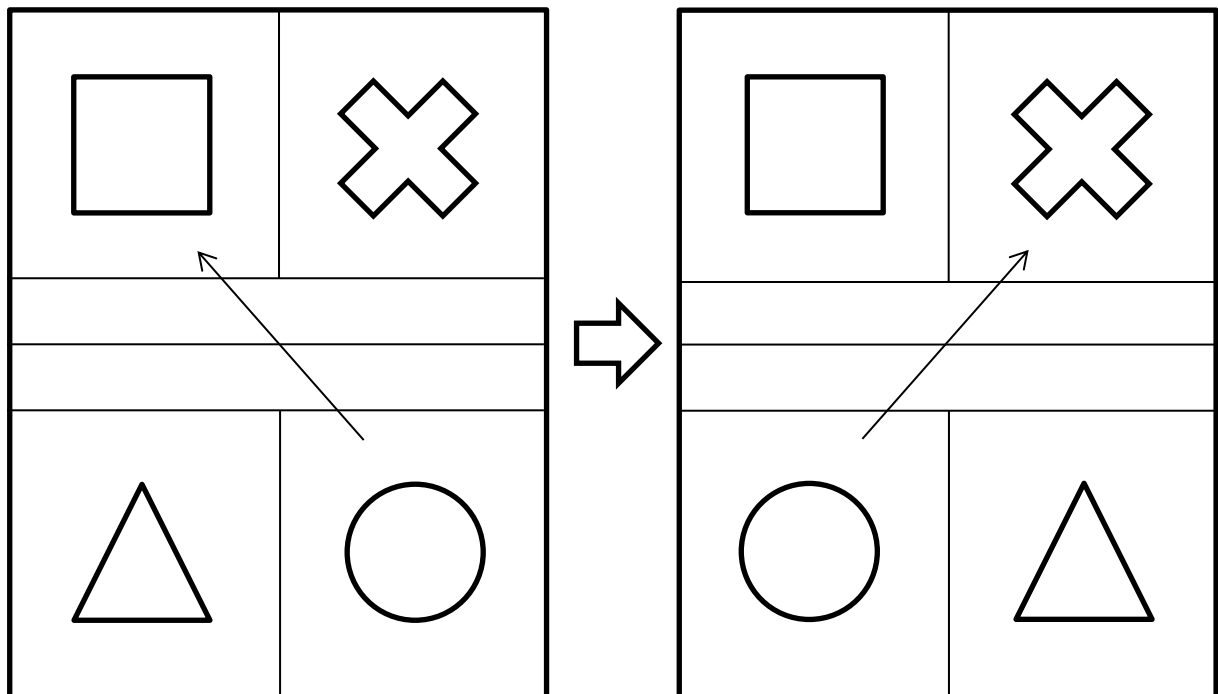
・ 試合開始後 10 分を過ぎても出場団体が現れなかった場合は失格とする。



●基本事項

- ・ダブルス制（登録できるメンバーは1チーム2人から6人）。
- ・1試合 30 分（交代時間等も含む）。
- ・トーナメント方式。
- ・1セット 11 点の 3 セットマッチ、セットごとにコートチェンジを行う。
 - ・最初のサーブ権はじゃんけんで決める。
- ・セットを取ったチームに次のセットのサーブ権が与えられる。

- ・ラリーポイント制。
- ・シャトルは羽とプラスチック両方とも用意するため、両チームの話し合いで決める。
決まらなかった場合はじゃんけんを行い、勝ったほうに選択権が与えられる。
- ・マイラケットは使用してよい。
- ・交代はプレイ中以外であれば各チーム自由に行ってよい。
- ・デュースは17点までとする（18点目を先にとったほうを勝者とする）。
- ・試合の妨害となる出来事が起こった場合は、審判の判断でその得点を無効とする。
- ・サーブの仕方は下の図を見てください。



【最初にサーブする人を○とする場合】

- ①最初にサーブする○は右サービスコートの中から対角線上の相手□にサーブする。
- ②サービスレシーバー(□)だけが、サービスを相手コートに打ち返すことができる。
ただし、その後は誰がどこへ打ってもよい。
- ③サーブを打った○のチームが得点したら、上の図のように○のチームがポジションを入れ替えてサーブを行う。その時□のチームはポジションをかえてはいけない。
- ④サービス権を持っているチームが失点した場合は、サービス権が移り、次のサービングサイドの得点が偶数ならサービス権を持っているチームから見て右サービスコー

トから(□)、奇数なら左サービスコート(×)から、直前のラリーの最初にそのサービスコートにいた人がサーブする。

●主なルール

以下の場合には相手チームに 1 ポイントが入ることとする。

- ・サーブを空振りしたり、相手コートのサービスラインを超えたコート内に落ちなかったりしたとき。(サーブ・ミス)
- ・シャトルが、プレーヤーの体や着衣に触れたとき。(タッチ・ザ・ボディ)
- ・ラケットまたは着衣が、ネットまたはポストに触れたとき。(タッチ・ザ・ネット)
- ・同じプレーヤーが 2 回連続でシャトルを打ったとき。(ドリブル)
- ・プレーヤーとパートナーが続けてシャトルを打ったとき。(ダブルタッチ)
- ・シャトルが境界線{サイドライン、バックバウンダリーライン}の外に落ちたとき。ネットを通り抜けたり、下を通り抜けたりしたとき。天井または壁、コート外のものや人に触れたとき。(アウト)
- ・ラケットまたは体が相手コートに侵入したとき。(オブストラクション)

●禁止事項

以下の行動をした場合は失格となる場合があるので注意して下さい。

- ・相手チームや審判に暴言や暴力をした場合。
- ・審判の指示に従わない場合。
- ・故意に相手にケガをさせた場合。

●勝敗の決め方

- ・2 セット取ったチームの勝利とする。
- ・セット中に時間切れとなった場合、そのセットは得点が多い方のチームの勝利とする。
また、取ったセット数が同じ場合は、得失点差で勝敗を決める。それでも決まらない際はじゃんけんで決着をつける。ただし決勝・3 位決定戦は時間無制限で行う。

●上記にないルール

前試合が早く終わった場合、次の試合は繰り上げてスタートすることがある。

両チームの合意があれば、その場限りの特別ルールを認める。ただし、登録していない選手の出場は認めない。また、それらを行ったことによる影響について、大学祭実行委員会は一切責任を負わない。